



2020年8月28日

株式会社アドバンスト・メディア

十六銀行の面談記録作成スマホアプリに 音声認識技術「AmiVoice®」が採用されました ～音声入力で顧客との面談記録を文字化。業務効率化を支援～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木 清幸 以下、アドバンスト・メディア）の音声認識技術「AmiVoice」が、株式会社十六銀行（本社：岐阜県岐阜市、取締役頭取：村瀬 幸雄 以下、十六銀行）の面談記録作成を目的とした音声認識スマートフォンアプリに採用されました。アプリケーション開発は、TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之 以下、インテック）が行いました。

本アプリケーションは、音声入力により銀行職員が顧客との面談記録作成を行うもので、インテックの金融機関向け総合情報系ソリューション「F3（エフキューブ）」と連携しています。音声認識を活用する事で、時間と負担の軽減と、業務の効率化を支援します。

ビジネス用語に強い音声認識エンジンを使用しており、且つ認識させたい単語を登録する事で、金融商品や独自の商品名等も高い認識率を誇ります。

【アプリケーションの利用イメージ】



【音声認識活用により期待できる業務効率化の効果】

- ・ 外出先で簡単に面談記録を作成できる為、営業活動の生産性が向上
- ・ 帰店後の報告事項を簡素化できる為、残業時間を削減し、働き方改革に寄与
- ・ 顧客面談後、音声にて速やかに記録を残す事で、情報の正確性が向上

スマートフォンでの文字入力はモバイルパソコンに比べるとキーボードの操作性という点でストレスを感じやすく、記録作成のスピードの低下を招く懸念がありました。音声入力は誰にでも容易に行え、キーボード・フリック入力と比較し、入力速度が速いというメリットがあります。面談後、鮮度の高い情報を即座に音声入力する事で、内勤時間の削減と営業活動の生産性向上が期待されます。

アドバンスト・メディアでは、今後も幅広い業種・業態にて、業務効率化に貢献する新しいソリューションや顧客サービスの提供に力を入れてまいります。

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

- 代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
- U R L : <https://www.advanced-media.co.jp/>
- 設 立 : 1997年12月
- 資 本 金 : 69億679万円 (18,332,724株) (2020年7月末現在)
- 事 業 内 容 :
◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム	STF 事業部
TEL : 03-5958-1307	TEL : 03-5958-1522
FAX : 03-5958-1032	FAX : 03-5958-1033
E-mail : press@advanced-media.co.jp	E-mail : info@advanced-media.co.jp